

猪突猛進 2019-7-1

「さっき、この先にイノシシが出たそうですよ。そちらの方に歩くのは少し危険よ。」と、散歩で出会った私に、近所のお年寄りの女性が注意してくれた。

「先日は、その線路で一匹轢かれ、お百姓さんが喜んでますよ」とも。「喜んで？ どうして？」と聞くと、そのあたりの畑の玉ねぎを食い荒らされたからだと言う。なるほど。なるほど。

岡山市街の北に、公園になっている小山がある。我が家はその小山の麓にあり、私は散歩で、その麓を一周する。ほぼ毎日歩き、出会った近所の人達と気軽に話す。また、四季折々の花、樹木の色の变化、落ち葉の上を歩く時のかさこそという響き、小川のせせらぎ、群生する土筆、散歩道に厚かましくも覗く竹の子などなど。小山一周の散歩は結構楽しい。

その小山の西に、奥深い高い山がある。小山と高い山の間、道路が走り、小川が流れ、鉄道線路がある。イノシシは、その高い山からときどき下りてくる。以前、我が家の庭まで来て、ミミズを探して庭をあちこち掘り起こして行ったことがある。

先ほどのお年寄りの話しを聞いて、ふと思い出す。少し前のこと

であるが、岡山県北部の中国山脈の麓にある田舎町の駅で、山陰からくる特急列車を待っていた時、「いま、列車はイノシシと衝突して遅れています」とアナウンスが流れた。先ほどのお年寄りの話と合わせると、どうもイノシシは鉄道線路の上を走るのが好きらしい。

なるほど、草木をかき分けて走らなければならない山道に比べ、前方に障害物もなく延びる鉄道線路は、イノシシにはきわめて快適な走り道であろう。納得、納得。

それで、一つの疑問が起こる。イノシシと事故を起こした列車の運転手さんに聞いてみたいのですが。イノシシは正面から猛然と突っ込んできたのでしょうか。もしそうなら立派！「猪突猛進」。でも、列車の轟音に立ちすくんだのでは。まさか、線路を枕に高いびきではあるまい。あるいは、列車に恐れをなして逃げるのを、後ろからお釜？人身事故では、詳しい報道がでるが、イノシシの列車事故の詳しい報道をみた覚えはない。

まあ、イノシシ君、「チョイ盲進」は、ご注意を！でも、人間様の中にも猪突盲進の人がいるのではと、イノシシ君から。